

めでいかすとる  
*Médicastre*



「 玉 露 」

鶴岡地区医療学術懇話会

期 日：平成 25 年 7 月 25 日 (休)  
場 所：東京第一ホテル鶴岡

## 『パーキンソン病薬の戦国時代』

山形大学医学部 内科第三講座  
准教授 川並 透 先生

パーキンソン病の内科治療はL-dopa (1967)の登場に始まる。ドパミンアゴニスト (1974)に引き続き、COMT阻害薬とMAOB阻害薬の導入、さらにゾニサミドが加わった。かつて頻用された抗コリン薬とアマンタジンはやや使い難いとはいえ、現在でも「得意な処方」として先生方もおられる。そこで今回は様々なパーキンソン病薬の特徴を「パーキンソン病治療ガイドライン」を参考に紹介させていただく。

## 1) パーキンソン病の診断

簡略に診断の話題を提供する。パーキンソン病の鑑別疾患として進行性核上性麻痺や多系統萎縮症などがあげられ、かつて診断は簡単ではなかった。しかし、近年、診断に関する大きな進歩があった。それは第一に脳MRI、第二にMIBG心筋シンチグラフィである。特にMIBG心筋シンチグラフィの診断的価値は、我が国の神経内科医・織茂智之先生により報告された。

## 2) パーキンソン病の治療

L-dopa合剤とドパミンアゴニストが治療の中心である。パーキンソン病の早期と進行期でL-dopa合剤+何を組み合わせるかが課題である。「パーキンソン病治療ガイドライン」では認知症がない非高齢患者はドパミンアゴニストで治療導入することが勧められている。一部の患者ではドパミンアゴニストの効果が長く続くが、2-3年後にはL-dopa合剤の併用が必要

となる。この際、他のパーキンソン病薬の使用を工夫してL-dopa合剤の処方量を一日450mg以下、できれば300mgで維持する。

## 3) 新たな薬剤

L-dopa合剤と組み合わせるアゴニスト以外の薬剤として、COMT阻害薬、MAOB阻害薬がある。あらたな薬剤として注目されているのが、ゾニサミド (トレリーフ) である。ゾニサミドは抗てんかん薬として使用されていたが、てんかんを合併していたパーキンソン病患者に、てんかん治療のためにゾニサミドを投与したところ抗パーキンソン病効果があった。この臨床観察からゾニサミドはパーキンソン病薬として実用化された (2009)。その他、大脳基底核に作用するアポモルヒネ、アデノシンA2A受容体拮抗薬が現在処方可能である。

## 4) 現在の課題

発症5年以内のパーキンソン病患者は治療によく反応し、この期間をハネムーンと称する。この期間は適切に処方を選べばかならず患者の満足を得られる。問題となるのは発症10年以上の患者でパーキンソン症状 (主に動けない) を改善しようとしてパーキンソン病薬を増やすと一気に幻覚妄想状態や寝たきり状態にしてしまうことがある。現時点では比較的安全に進行期パーキンソン病に使用できるのは、経口薬ではゾニサミド、注射薬で短時間作動型のアポモルヒネと考えられる。

やまがたピンクリボン プレ フェスタ2013 in つるおか

期 日：平成 25 年 7 月 28 日(日)

場 所：第 3 学区コミセン

## やまがたピンクリボン プレフェスタが鶴岡で開催されました

プレフェスタ実行委員長、荘内病院診療部主幹 鈴木 聡

「やまがたピンクリボン プレフェスタ2013 in つるおか」が、7月28日(日)第3学区コミセンホールで開催されました。ピンクリボン運動は、乳がん検診受診率向上を目指す市民運動のひとつです。山形県でも、年に1度山形市で本フェスタが開催（今年は10月6日）されますが、プレフェスタが今回初めて鶴岡で開催されました。当日は梅雨空の天気の中、150名あまりの市民の参加がありました。主催者を代表して三原医師会長のご挨拶あと、本フェスタ2013年の企画発表、その後の基調講演では、最初に山形済生病院の太田圭治先生の「乳がんってどんな病気？」、続いて私鈴木の「鶴岡地区の乳がん検診について」の2題の発表がありました。

後半は、工藤敦子さん（フリーアナウンサー）の司会のもと、『大切な家族のために「乳がん検診」を！』をテーマにパネルディスカッションがおこなわれました。県立中央病院の工藤俊氏がコーディネーター、乳がん患者会の代表者、斎藤胃腸クリニックの三浦二三夫氏、市健康福祉部の原田真弓氏、健康管理センター放射線技師の五十嵐ちづる氏、現在静岡がんセンター女性病棟で研修中の荘内病院看護師竹内梨紗氏、それに私の計6名がパネリストです。乳がん患者数は40代後半から50歳代前半にピークを迎えます。日本では年々患者数、死亡者数が増加していること。早期に発見され、適切な治療を受ければ90%以上が治る病気であるため、マンモグラフィーを併用した乳がん検診



や、自己検診が大切であることが繰り返し強調されました。また、鶴岡地区の乳がん検診受診率の低さが話題になり、検診率アップのためには、働く女性が気軽に検診を受けられる職場の環境づくりの重要性や、家族みんなでがん検診について考えることが大切であることが確認されました。今まで以上に、行政の積極的な取り組みにも期待したいところです。

一方、ギャラリーではパネル展示が行われ、地区医師会、歯科医師会、庄内保健所、市健康課、からだ館などから、健康チェックや健康クイズ、がん関連の様々な教育、啓発資材の提供があり、大変好評でした。

プレフェスタの開催を機に、当地区でもピンクリボン運動の盛り上がり期待されます。乳がん検診受診率の向上を目指した方策を市民とともに考え、取り組んでいくことの大切さを痛感しました。最後に、本会の準備・運営にあたりプレフェスタ実行委員の皆様から献身的なご協力をいただいたことに感謝いたします。有難うございました。



期 日：平成 25 年 7 月 1 日(月) 19：00～  
場 所：東京第一ホテル鶴岡

## 病院勤務医と医師会との懇談会

勤務医委員会委員長 石原 良

今年で 7 回目となりました病院勤務医と医師会との懇談会が 7 月 1 日に東京第一ホテル鶴岡で開催されました。出席者 51 名（病院勤務医：29 名、医師会：22 名）で昨年の 33 名より多数の先生方に御出席頂きました。

三原一郎会長の挨拶の後、話題提供 2 演題の発表がありました。

最初に協立病院の高橋美香子先生に“介護職員対象の看取り学習の取り組み報告”の演題でお話して頂きました。介護職が看取りを拒否する最大の理由は知識不足による漠然とした怖さにあることから、研修を通しての看取りへの理解や知識が施設看取りを進めるために必要と考え始めたということです。実際、看取りを受け入れる施設は増えているようで、今後の施設での看取りについての問題提起をされ大変有意義なお話でした。続いて三年前にもお話頂いた、荘内病院の菅秀紀先生に“鶴岡 E R 2013 ～ one for all, all for one ～”の演題で三年前と比較して現在の荘内病院 E R の現状、変わったこと、変わらないこと、開業している先生方への感謝、要望などをお話して頂きました。内容は以下の如くでした。1 次救急の E R 受診患者は減少傾向にあるが、まだ多い。荘内病院の救急車搬送による E R の患者数は、救急救命センターを除くと全国でトップ 10 に入る患者数である。休日夜間診療所（にこふる）の効果は大変大きく、とくにインフルエンザの流行期は大いに助かっている。開業医の先生方には E R 受診依頼の際は、電話での一報をお願いしたい。1 次救急患者の E R 受診抑制は、病院を守るため、ひいては市民を守るためでもある。このことは、市民にも考えてもらいたい。

その後は荘内病院三科武院長の乾杯で懇親会が和やかに行われ、最後は鈴木伸男先生の中締めで閉会となりました。今回は病院勤務医の研修医をはじめ、若い先生方が多く参加されました。開業の先生方との顔の見える交流は医療連携に欠かせないものと思います。来年さらに多くの先生方の参加をお願い致します。



## 第98回定時総会議事録

期 日：平成 25 年 5 月 31 日(金) 18：30～  
場 所：ベルナール鶴岡

**三浦議長**：定刻となりましたので、鶴岡地区医師会第98回定時総会を開会いたします。最初に佐藤事務局長より資格確認をお願いいたします。

**佐藤事務局長**：それでは資格確認についてご報告いたします。会員総数192名、うち18時30分現在で出席されている方は26名、委任状を提出されている方は116名、以上合計142名となり総会の成立に必要な過半数の出席を満たしておりますので、本総会は成立いたします。

**三浦議長**：どうもありがとうございました。ただいまの報告のとおり本会の成立と開会を宣言いたします。それでは会に先立ち三原会長よりご挨拶をお願いいたします。

**三原会長**：皆さんこんばんは。今年は例年になく寒い春となり、最近まで寒暖の差が激しい気候でしたが、やっと風薫る季節となりました。本日はお忙しい中、鶴岡地区医師会第98回定時総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。会員の皆さまにおかれましては、日頃より鶴岡地区医師会の様々な活動についてご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。

本日は平成24年度の各事業の決算報告をさせていただきます。昨年度は私が会長に就任しまして最初の年度ということもあり貴重な経験をさせていただきました。各事業が全て順風満帆というわけではありませんけれども、概ね順調に推移していると評価できるところで少々安堵しているところでもあります。

さて、本年の4月1日をもって本地区医師会是一般社団法人へ移行しました。総会、理事会、選挙等組織の運営の方法が従来とは変わります。従来の方法での総会は今回で最後となり、来年度からは定時総会は年1回、予算、決算同時に行うかたちになります。詳細は定款に記載してありますが、定款を遵守しながら今後とも健全な医師会の経営・運営を目指していきたいと思っておりますので、引き続きご指導、ご協力をお願いしたいと思います。

それでは各担当理事より平成24年度の事業の報告をさせていただきます。慎重審議のうえご承認いただきますようお願い申し上げます。

**三浦議長**：どうもありがとうございました。続きまして議事録署名人の選出に移りたいと思います。時間の短縮を図るため、こちらから指名させていただきます。議事録署名人として滝沢元先生、竹田浩洋先生の両先生をお願いいたします。よろしく申し上げます。それでは平成24年度会務報告を小野総務担当理事よりお願いいたします。

**小野理事**：総務担当の小野です。よろしくお願いいたします。お手元の資料の中の黄色い表紙の平成24年度鶴岡地区医師会会務報告をご覧ください。説明させていただきます。平成24年度の新入会員はA会員が2名、B会員が7名、退会はB会員1名です。この間に福原美和子先生、福嶋茂樹先生、遠藤勝彦先生、真柄三夫先生がお亡くなりになっておられます。亡くなられた先生方に哀惜

の意を表したいと存じます。議長よろしく  
お願いいたします。

**三浦議長**：それでは全員ご起立願います。お亡  
くなりになられた福原美和子先生、福嶋茂  
樹先生、遠藤勝彦先生、真柄三夫先生に哀  
悼の意を表し、黙祷を捧げたいと思います。

～ 黙祷（1 分間）～

黙祷をお解きください。ご着席くださ  
い。引き続き小野理事よろしく願いいた  
します。

**小野理事**：ありがとうございました。以上、平  
成 25 年 3 月 31 日現在の鶴岡地区医師会の会  
員数は 193 名でございます。続けて次ペー  
ジの会議関係ですが、定時総会が 2 回、臨  
時総会が 2 回行われております。大変申し  
訳ございませんがお手元の資料には平成 24  
年 4 月に開催しました臨時総会の記載が漏  
れておりました。訂正させていただきます  
。平成 24 年 6 月に第 96 回定時総会、25 年  
3 月に第 97 回定時総会が行われておりま  
す。また新法人の移行に備えて 24 年 4 月に  
臨時総会を行いまして役員選挙を行って  
おります。24 年 9 月の臨時総会では定款の  
変更についてご審議をいただきご承認い  
ただいております。続いて理事会です。24  
年度は 12 回の定例理事会と 5 回の臨時理  
事会が行われております。内容については  
資料の 3～13 ページに記載されてお  
りますのでご参照ください。その中で 6  
ページの第 2 回・第 3 回の臨時理事会に  
ついては内容を記載していませんが、当  
地区医師会長が巻き込まれた暴力事件  
への対応について協議いたしました。

事業報告について引き続き説明させて  
いただきます。資料の 14 ページをご  
覧ください。

総務関係では、公益法人制度検討委員

会を行いまして一般社団法人への認可に  
向け検討を行い、臨時総会で定款変更の  
協議をいただきました。新法人認可後、  
登記を終えて本年 4 月から一般社団法  
人としての活動を始めております。外  
部評価委員会は 3 月 7 日に行われま  
して山形県災害コーディネーターの  
森野一真先生から、医師会としての  
災害時対応について講演いただきました。  
この講演は地域の医療機能そのもの  
が損なわれるような大規模災害に対  
してどう備えていくべきかという講  
演でした。それを踏まえて当地区医  
師会でも今年度対応に着手する計  
画でございます。資料 15 ページの  
医療連携・医療情報では、在宅  
医療、地域連携バス、緩和ケアに  
関わる活動が非常に活発に行われ  
ております。在宅医療の分野では、  
地域連携室ほたるを中心とした活  
動、また新しく在宅の主治医が不  
在の場合の対応について『ゆきち  
ネット』の活動が始まろうとして  
おります。地域連携バスでは新た  
に糖尿病バスが加わっております。  
また、今年度より心筋梗塞バスを  
始めるということで検討が行われ  
ております。新 Net4U への更新・  
ちょうかいネットが開始されて普  
及促進の会合が開催されてお  
ります。これらの活動は全国的にも  
非常に注目されておりました視  
察や講演依頼がたくさんござい  
ます。引き続き 17 ページを  
ご覧ください。健康管理センター  
のところですが、昨年新健康  
管理センターがオープンしま  
して健診事業が始まっております  
が、それに伴いまして C T 肺  
がん検診を始めました。その普  
及と日曜健診の取組みを行って  
おります。また C T を利用した  
内臓脂肪検診の取組みを昨  
年度から進めております。20  
ページの准看護学院について  
ですが、要望いたしておりました  
教員養成講座

が、今年度山形県で行われるということになりました。当地区医師会からも職員 2 名が教員になるため受講をしております。簡単ではございますが以上ご報告させていただきます。

**三浦議長：**どうもありがとうございました。どなたかご質問等ございませんでしょうか。では、次に議案に入ります。第 1 号議案平成 24 年度決算承認の件について各担当理事の報告を受けたいと思います。最初に一般会計収支計算書について小野理事よろしくお願いいたします。

**小野理事、本田理事、斎藤慎理事、土田副会長、福原副会長、上野理事から原案により説明（略）**

**三浦議長：**どうもありがとうございました。次に財務諸表について小野理事よりご報告をお願いいたします。

**小野理事より説明（略）**

**三浦議長：**どうもありがとうございました。それでは内部監査報告について阿部監事よろしく申し上げます。

**阿部監事より報告（略）**

**三浦議長：**どうもありがとうございました。それではご質問を受けたいと思いますが、あらかじめ質問状にて 2 つの質問を受けておりますので、そちらから説明をお願いいたします。

最初に各部門における未収入金の現状及び回収対策について各担当理事より順次回答をお願いします。

**小野理事：**一般会計の未収入金についてですが、一般会計では委託事業・補助金事業がございまして実際に入金が年度をまたいで翌年の 4 月、5 月なっておりますが全て入金されており、未収入金はありません。

**本田理事：**准看護学院における 24 年度の未収入

金は、1 万 3,293 円でした。これはレオパレス退室時の差額返金と未収消費税がありましたが、すでに決済しており、現在はありません。

**斎藤理事：**健康管理センターの未収入金ですが、センター会計は受診月から 3 ヶ月ほど経過し支払がない場合は電話による連絡、請求書の再送、事業所へ出向いております。24 年度は倒産が一件ありまして 1 万 2,890 円が回収不能となっております。それ以外は順調に回収しております。

**土田副会長：**在宅サービスセンターにつきましては、訪問看護ステーションも訪問入浴事業におきましても利用者負担分の年度末未収入金はすでに全額回収しております。

**福原副会長：**ふきのとう、つくしですが、いずれも鶴岡市、国保連、各包括からの入金になるため、入金時期の遅れはあるものの回収不能となることはないと思われま

**土田副会長：**湯田川温泉リハビリテーション病院ですが、5 月 27 日現在の支払基金、国保連合会の患者負担分の未収金は平成 20 年度分から 24 年度分まで合計で 871 万 4,725 円。延べ人数 61 名分となっております。未収入金の回収については未納者一覧表を作成し、患者ごとにチェックしております。入院中の未納患者については請求時に入金依頼文書を同封するとともに、相談員と病棟師長にも未納の情報を提供して督促をさせております。退院した患者につきましては定期的に電話にて入金予定を確認し、連絡がつかない場合は文書でお願いしております。また、一括での支払いが困難な患者には分納できることを説明し、回収に努めているところですが、先ほどの金額が未収入金となっております。

**上野理事：**みずばしょうの未収入金について説

明します。24年度までの請求に関しては5月27日の時点で未収入金は8名分の69万8,508円となっております。これはほぼ25年3月分の支払いが遅れていることにより、1名だけ、25年1月より滞納しております。その金額は37万8,866円となっております。この方に対しては25年3月より分納計画を立てて対応し、25年3月から5月までは計画とおりに支払っていただいております。12月には滞納がなくなる予定となっております。みずばしょうでは1ヶ月未納の場合は連絡を取り催促するという対応をとっております。

**三浦議長：**このことについてご質問はありませんでしょうか。

**齋藤壽一先生：**湯田川温泉リハビリテーション病院ですが、平成19年より以前の未収入金については処理されているのでしょうか。

**土田副会長：**平成15年度が2名、16年度が2名、17年度が9名、18年度も9名となりますが、5年未納の患者につきましては鶴岡市との協定により半額ずつ折半し処理を終えております。19年度分に関しては6月に鶴岡市より半額分が入金される予定となっております。

**三浦議長：**よろしいでしょうか。それではもうひとつの質問に移ります。湯田川温泉リハビリテーション病院において、1、エレベータ機械室補修工事分割の理由について2、放射線関連機器保守点検・修繕の内訳について3、給食費収入額について土田副会長よりご説明をお願いします。

**土田副会長：**エレベータ機械室補修工事分割の理由については、内訳明細書の28～29ページの営繕費支出に記載されたエレベータ機械室補修工事75万円。エレベータ機械室外部塗装工事11万8,000円。エレベータ機械

室屋上排水管修繕工事8万1,000円の3つの工事についてということで説明いたします。エレベータ機械室補修工事は点検業者より病棟屋上エレベータ機械室内に雨水が溜まっており、電気系統等に悪影響があるため補修が必要との指摘を受け、平成24年度予算に機械室外壁補修の予算を計上しておりました。7月30日から病棟3階から屋上まで足場を組んで工事を開始しました。工事を進めるうちにエレベータ機械室屋上に設置してある防火水槽の足場や手すりの塗装が剥がれて腐食が激しいことが分かりました。施工業者によると、後日実施するよりは足場を組んでいる今実施する方が費用がかからないとのことで、同時実施することを決定しました。また、そのうち屋上から雨水を排出する配管が腐食し穴が開いているのが見につき至急修繕する必要がありますため、これも足場があるうちに実施する方が費用がかからないとのことで同時実施することにしました。工事実施時期としましては、足場を組んでいる同じ時期に行いましたが、このようないきさつがありまして工事内容を別にしております。

続きまして、内訳明細書29ページの設備保守費支出の放射線関連機器保守点検費323万670円の内訳についてご説明します。日立装置保守点検費210万円。富士装置保守点検費37万8,670円。島津X線テレビシステム保守点検費33万円。キャノンCXDI保守点検費33万円。東芝一般撮影装置保守点検費9万2,000円。以上でこれは毎年実施している保守点検です。機械修繕費支出のX線一般撮影装置の47万6,000円は電源を入れてもスタンバイ状態にならず撮影不能となったため修理したものです。この修理内容はX線管電流装置の基盤故障の

ため、同基盤の交換とX線出力の再調整を行ったものです。

給食費の収入額については、24年度の給食部門収入は入院患者の食事療養費が8,135万円。通所リハビリの食費が555万円。合計8,690万円となりますが、これに24年度の診療報酬では前年度までは栄養管理実施加算が入院基本料の算定条件に組み込まれておりますので、その相当額427万円を加えますと合計9,117万円となります。

**三浦議長：**回答につきましてご意見、ご質問はありませんでしょうか。

**齋藤壽一先生：**理由も分かりましたし、足場を組んでいる時期に行う方が安価になることも分かりますが、本来であれば予算をとって業者からの報告を受けて見積りをとる手順となりますが、今回は見積り・予算の検討があまかったと思います。もう1点、追加の工事の決定はどなたが行ったのでしょうか。

**土田副会長：**当初予算で行う工事に含むことができなかったことについては、たしかに問題だったかとは思いますが、今回は足場を組んでの調査にて見つかった部分で通常の見積りでの発見が難しい場所だったことが理由のひとつとなります。追加工事の決定プロセスについての資料は本日持ち合わせておりません。

**堀部長：**決済に関しましては金額による決済区分がありまして、追加工事の金額におきましては事務部長決済ということで私が決済いたしました。

**三浦議長：**よろしいでしょうか。

**齋藤壽一先生：**分かりました。本来建物については市の財産になりますので、前もって状態を把握して市へ予算請求をしていく必要があると思います。

**三浦議長：**他にございませんでしょうか。

**齋藤壽一先生：**内訳明細書の6ページ、准看護学院の補助金等収入の地方公共団体補助金収入についての鶴岡市部分ですが、以前は100万円だったと思います。82万7,000円に減額されているのはいつからでしょうか。また、減額された理由についても説明してください。

**本田理事：**本日資料を持ち合わせておりませんので、後日回答いたします。

**齋藤壽一先生：**では、後日説明してください。現在の看護師不足の状況で減額されていることについては、五者懇談会等で伝える必要があると考えます。行政としての看護師養成への対応の必要性についてもぜひ市へ伝えてください。

**三浦議長：**他にご質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは平成24年度決算承認の件についてお諮りいたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。

～ 挙手多数 ～

平成24年度決算について承認されましたものと認めます。

続きまして、第2号議案、役員等に支給する退職慰労金について小野理事よろしくをお願いいたします。

**小野理事より説明（略）**

**三浦議長：**この件につきましてご質問等はありませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、役員等に支給する退職慰労金についてお諮りします。賛成の方は挙手をお願いいたします。

～ 挙手多数 ～

第2号議案、役員等に支給する退職慰労金について承認されましたものと認めます。

続きまして、第3号議案、理事の退職に伴う後任理事の選任について三原会長より

説明をお願いします。

**三原会長：**これまで湯田川温泉リハビリテーション病院の院長で理事をされておりました竹田浩洋先生が 3 月末で退職されたことに伴う選任です。定員 1 名に対して候補者 1 名となりましたので投票はせず、平成 26 年 5 月の定時総会までの間、湯田川温泉リハビリテーション病院の院長に就任された武田憲夫先生を選出していただきたく決議のほどよろしく願いいたします。

**三浦議長：**この件につきましてご質問等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは理事の退職に伴う後任理事の

選任についてお諮りします。武田憲夫先生を選任することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

～ 挙手多数 ～

第 3 号議案、理事の退職に伴う後任理事の選任については承認されたものと認めます。他に協議事項等はありませんでしょうか。それでは、これもちまして鶴岡地区医師会第 98 回定時総会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

(午後 8 時 05 分 閉会)

## 「R32 について考えてみた」 わたしのお気に入り

スカイラインとして 8 代目、GT-R としては 3 代目の NISSAN スカイライン R32GT-R。平成元年から発売され私の GT-R は、平成 6 年の最終型です。

現在の GT-R は、スカイラインの名前は無くなり NISSAN GT-R となってしまいましたが、スカイライン GT-R とは、オーバーサイズのタイヤを履かせるためのプリスターフェンダー、アルミ製フロントフェンダー・ボンネットによる軽量化、リアウィングの装着とグループ A のツーリングカーレースに勝つことを前提に作られた車なのです。

写真のようにフロント・リアフェンダーの膨らみが R32GT-R の特徴でしょう。それから、スカイラインといえば、丸型テールランプ。このテールを見ただけであまり車に詳しくない方でもスカイラインと解ると思います。R32GT-R の最大の魅力は心臓部であるエンジンです。今となっては存在しない直列 6 気筒 DOHC + ツインターボエンジン。このエンジンの素晴らしさは「フィーリング」や「レスポンス」にあり、その加速には感動させられてしまう素晴らしい逸品です。当時、R32GT-R に後ろに付かれるとすぐに道を譲ってしまうほどの威圧感がありました。

20 年以上も前に発売された車なので故障も多くメンテナンスが欠かせませんが、現在の車と並ぶ基本性能を持っています。

間違いなく、日本車の歴史に残る一台だと私は思います。

(伊藤 茂彦)





期 日：平成 25 年 7 月 27 日(土)  
場 所：介護老人保健施設みずばしょう

## みずばしょう夏祭り

7月27日、恒例となりましたみずばしょうの夏祭りを開催いたしました。今年は梅雨明けが例年より遅く当日も梅雨空となってしまいましたが、幸いにも夏祭り開催中、雨は落ちてきませんでした。予定していたプログラムも滞りなく行うことができ胸をなで下ろしております。演奏・演技をしていただきました羽黒太鼓こどもクラブ様、柏樹会様、念珠関辨天太鼓創成会様、本当にありがとうございました。また、今回も職員による余興を披露させていただいております。フラダンス・太鼓・影絵と年々上達していると信じて披露いたしました。いかがだったでしょうか？

そして、みずばしょう夏祭りの目玉でもある打ち上げ花火。今年も大勢の皆様からご協賛いただき、「輝き」をテーマに盛大に打ち上げました。参加していただいた皆様に感動をお届けすることができたと思います。企画している私たちも大変感動いたしました。

来年はいよいよ10回目の区切りを迎えます。さらにグレードアップさせた内容を企画したいと思いますので今年参加できなかったみなさんもぜひ参加していただき、利用者さん、地域の人々との交流をお楽しみいただければ幸いです。

最後になりましたが、ご協賛いただきました皆様、ご協力いただきました皆様に深く感謝・御礼申し上げます。

総務会計課長 井上 祐司





## 第22回 医師会納涼ビアパーティー

期 日：平成25年8月2日(金) 19：00～  
場 所：グランド エル・サン

去る8月2日(金)、第22回医師会納涼ビアパーティーがグランド エル・サンにて開催されました。今年は参加者が330名を超えて過去最多となりました。

福原先生の開会挨拶、三原会長の挨拶の後、石原良先生の乾杯で開宴し、恒例の新人による余興では、みずばしょう、健康管理センター・医師会館、湯田川温泉リハビリテーション病院の順に新人職員から素晴らしいパフォーマンスを披露していただき、大いに盛り上がりました。その後、大抽選会が行われ、今年は、上位の景品からは抽選に当たった方がさらにクジを引いて、当たりを引かないと景品をもらえないようにしたため、いつもとは違った緊張感を味わえたのではないのでしょうか。

フィナーレは、大抽選会の勢いをそのままに、佐藤孝司先生の進行により、昨年引き続き東日本大震災の被災地の方々への応援メッセージの意味を込めて、『愛は勝つ』を合唱しました。歌声が会場中に響き渡り、全員がひとつになりました。

最後に、伊藤末志先生の閉会挨拶と一丁締めにより閉宴となりました。

ビアパーティーは年に一度の医師会員と職員とが一堂に会する行事です。来年も多くの方から出席いただき、会員と職員、職員同士で交流を深められればと思います。

実行委員長 難波 崇





みずばしょうの新人チームが贈る「女々しくて」いかがでしたでしょうか？

本番を迎えるにあたり、全員揃う機会が少ない中、何度も話合いや練習を重ねました。当日はお互いの顔を見ては笑いが止まらず…。全員が白塗りした姿は異様でしたが変な一体感も生まれ、楽しく踊ることができました。みずばしょう応援団の後押しも心強かったです。ありがとうございました。

余興に抽選会やたくさんの料理、存分にビアパーティーを楽しませて頂きました。皆様の仲間入りをさせていただき、仕事でも頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

みずばしょう 阿部明日香

## 表 紙

## 「 玉 露 」

三原 一郎

今年の 4 月にソニーの一眼レフを手に入れて以来、本格的に写真を楽しむようになりました。今回は「めでいかすとる」の表紙にという光栄なるリクエストを頂きました。どの写真にしようか迷いましたが、お気に入りの花の写真 2 枚を並べてみました。共に水滴（露）が素敵ですので、タイトルを玉露としてみました。

## 編 集 後 記

梅雨明けとのことですが相変わらずぐずついた天気が続いています。だだちゃ豆は先の豪雨による畑の冠水で根腐れが生じ芳しくない白山の農家の方たちが嘆いておりました。また今年は例年になく庄内沿岸でマグロが上がっているようです。先日訪れた飛島周辺でもトロリングの漁船が盛んに流している光景を見ました。

蒸し暑い季節を吹き飛ばすように、恒例のみずばしょう夏祭りと医師会納涼ビアパーティーが催されました。参加された方も多いと思います、楽しそうな写真を是非ご覧ください。

病院勤務医と医師会との懇談会は 50 名を越す出席があり、高橋美香子、菅秀紀両先生から講演をいただきました。庄内地域の救急外来の現況と施設での看取りというとても重要なテーマをわかりやすく講演いただきとても勉強になりました。平日夜間診療所の受診数も徐々に増えており、病院の救急外来をしっかりとアシストする役割も定着しつつあるようです。

そうそう、ちょうどよいタイミングで NHK 「鶴瓶の家族に乾杯」の放送で 2 週にわたり鶴岡市が紹介されました。私もやらせてもらったことがあります。孟宗堀りって結構難しいんですよ。湯田川温泉、羽黒の宿坊、加茂水族館、加茂水産高のダイビングの実習風景もありました。みなさんととてもよい表情をされていて鶴岡の温かみがよく出ていました。

お気に入りのコラム「私のお気に入り」はカーキチの我が編集長が GT-R について熱く語っております。こんな感じでこれからも長く続けていきますので、皆さんの「お気に入り」をご準備ください。私はなににしようかな。

(中村 秀幸)

編集委員：伊藤 茂彦・福原 晶子・石原 良・中村 秀幸・斎藤 高志・今立 明宏

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町 1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

URL <http://www.tsuruoka-med.jp>